

## R7資格学校はS社かN社か、それとも・・・

① 毎年S社とN社の合格が**約9割**を占める



② S社とN社の**課題、合格率、価格**は？



③ S社とN社**以外**の選択はあるのか？

建築資格研究会：[www.kenchiku-shikaku.net](http://www.kenchiku-shikaku.net)

1級製図、令和7年合格するぞ「R7庁舎の資格学校はどこを選ぶ」について、下記3点について解説します。

- ① 毎年S社とN社の合格が約9割を占める
- ② S社とN社の課題、合格率、価格は？
- ③ S社とN社以外の選択はあるのか？

# S社N社の予測課題は毎年約15種類

**R5 課題のS社・N社の代表的な予測課題**

**R6 課題のS社・N社の代表的な予測課題**

S社N社の予測課題は、毎年、約15種類が提示されます。

受講生は、毎週異なる課題を作図して、夕方に添削の指導を受けます。

ただし、1名の講師に対して、受講生が10名程度になることから、十分な添削時間が取れません。

## 資格学校の合格者の占有率

### 資格学校の占有率は90%を占める

表 令和3年「集合住宅」の製図試験における資格学校の合格者割合

| R3製図合格者 <sup>※1</sup> | 資格学校 | 合格者 <sup>※2</sup> | S社N社合格者 <sup>※3</sup> | S社N社占有率 <sup>※4</sup> |
|-----------------------|------|-------------------|-----------------------|-----------------------|
| 3,765人                | S社   | 1,986人            | 3,393人                | 90%                   |
|                       | N社   | 1,407人            |                       |                       |

※1: (公財)建築技術教育普及センターから公表された令和3年の合格人数3765人

※2: S社、N社がホームページで公表している合格人数

※3: S社、N社がホームページで公表している合格人数の合計

※4:  $(3,393/3,765) \times 100 = 90\%$  S社、N社が占有率の90%を占める

S社とN社の令和3年、集合住宅の製図試験の合格者は、全体の合格の90%を占めます。  
近年は、両社による詳細な合格者を公表していませんが、概ね90%程度と推定します。  
つまり、1級建築士の製図試験は、大手2社が合格者の90%を占めており、その他の10%を他の資格学校や独学者が占めている試験でもあると言えます。

## S社とN社の**合格率**は、ほぼ同じと推定 資格学校の**合格率**は公表されていない 公表されているのは**占有率**である

表 令和3年「集合住宅」の製図試験における資格学校の合格状況

| R3製図合格者※1 | 資格学校 | 合格者※2  | 占有率※3 | 合格率※4    |
|-----------|------|--------|-------|----------|
| 3,765人    | S社   | 1,986人 | 約53%  | 35～39%推定 |
|           | N社   | 1,407人 | 約37%  | 35～39%推定 |

※1: (公財)建築技術教育普及センターから公表された令和3年の合格人数3765人

※2: S社、N社がホームページで公表している合格人数

※3: 全合格者に占める合格者割合 (S社の数値が高いのは単純に受講者が多い)

※4: 公表されていないので研究会の情報収集から推定した数値

資格学校、S社とN社の製図の合格率について、令和3年を参考に解説します。

令和3年の製図合格者は、3765人であり、S社が1986人、N社が1407人です。

それぞれの合格者の占有率は、S社が約53%、N社が37%です。

ここで勘違いをしないようにして頂きたいのですが、この占有率は、受講者が多いと単純に数値が上がります。

S社が高い数値であるのは、単純に受講者が多いからと推定します。

合格率は、S社、N社のどちらも、その年度の合格率に近い、令和3年では33%～39%と推定しています。

**価格はS社が高額**（N社の約1.5倍＋補習費あり）

S社は**宣伝力**が非常に高い（投資額大）

（1）S社の**宣伝力**は高く初受験者の多くが受講



（2）S社はN社と比較すると**約1.5倍＋補習費あり**



（3）2年目以降は**N社へ**流れる・・・なぜ？

資格学校の価格について解説します。

S社の宣伝力は非常に高いです。

その結果、初受験者の多くが受講し、初受験者の合格占有率も高くなっています（合格率ではなく占有率であることを注意ください）。

この宣伝への費用をかけている等からと推定するが、S社の受講費は高額です。

S社の受講費は、概ねN社の1.5倍であり、さらに各種補習などの追加費用として約十万円がかかります。

この追加費用があること等から、2年目からは、N社へ変える方が多くいます。

ただし、S社なりの魅力的な一面もあり、夜遅くまでの学習は人間の集中りよくの限界を超えているので、あまり賛成できませんが、それ以外にも多々良い点がありますので、各自ご判断下さい。

## S社とN社**以外**の選択はあるのか？

最終的に資格学校は各自が選択する

① S社とN社**以外**の合格占有率は**約10%**



② 大手2社**以外**の**課題**を分析した結果は？



③ 毎年多くの方が研究会を**併用利用**される

建築資格研究会：[www.kenchiku-shikaku.net](http://www.kenchiku-shikaku.net)

S社とN社以外の資格学校等の選択について、下記3点から解説します。  
なお、最終的に資格学校をどこにするかは、各自が選択することです。

① S社とN社以外(その他の資格学校、通信教育学校、独学者)の合格占有率は、約10%です。

② 大手2社(S社とN社)以外の課題を分析した結果は、「それなりの予測課題」であるが、やはりS社とN社の方が様々な点で優れていると判断しています。

③ S社、N社の合格占有率が約90%であることから、結局、資格学校の中で、その年度の合格率、令和6年なら約27%に入らないと、製図試験に合格できない状況です。

つまり、結局製図試験は、S社とN社の資格学校内での競争となることと、その資格学校の学習は、全国共通の平等な学習内容であることから、隣の方に勝って約27%に入り合格するため建築資格研究会のHPを併用利用される方が多々います。

以上で令和7年の製図に合格するぞ「資格学校はどこを選ぶ」の説明を終了します。